

笑顔のお父さん

私のお父さんは、産婦人科の医師です。私のお父さんの仕事は、妊婦検診や出産のお手伝いをしたりし、不妊治療、病気の人の手術もしています。私は、一生けん命に働くお父さんになかなか言えない感謝を伝えたいです。

お父さんは、仕事中医院内を駆け回り、ほとんど休みがありません。次から次へと、患者さんが診察に来ます。診察が終わると予定の手術があり、また午後の診察が始まります。その間にもお産と呼ばれます。いつ呼ばれるのか分からないので、ごはんは一〇分位で食べてしまいます。当直の時は、あまり寝れません。でもどんな時でも笑顔です。先生が笑顔だと、患者さんも安心すると思います。パソコンで資料を作って患者さんに説明をしたり、エコーを操作したり、父の働く姿はカッコいいです。でも、家に帰ってくるとテレビをつけたままソファで寝てしまいます。いつもお母さんに、「早くお風呂に入って寝なさい!」と言われていきます。私もそう思うけど父は、そのウトウトが好きみたいです。家ではふざけておもしろい人です。私はそんなお父さんをそんけいしています。

お父さんに質問してみました。なぜこんなに忙しくてつかれているのに、笑顔でいられるかです。私だったら、つかれると人にいやな態度を見せてしまいます。お父さんは二つ答えて

徳永 茉弓^{とくなが まな}

くれました。一つ目は、自分のやりたい事をしていいるからです。お父さんは、自分の病院をたてる事が夢だったそうです。栃木や大阪に行って勉強をし、「徳永産婦人科」を開院しました。自分の病院で働けることがうれいそうです。二つ目は、楽しいから笑うよりも、笑うと楽しいからだそうです。笑っている方が幸せですが、大変な時に笑うのはむずかしいことです。私はいつも楽しい時にしか笑っていなかったのですが、父の考えもおどろきました。でも、いやな事があつてうつむいていても何も変わりません。お父さんの考えをまねしたいと思いましたが生まれてうれい事も多いし、その家族を幸せにできる仕事だから笑顔でいられるのだと思います。

私は、つかれているお父さんにかたもみをして、つかれを楽にしてあげたいです。

お父さんの良い所をたくさんまねして、将来お父さんのようにみんなに笑顔を届けられるかっこよく、すごいと言われるような医者になりたいです。そして家族のためにこんなにがんばってくれるお父さんへの「ありがとう」の気持ち心がの中でいっぱいです。